

都市再生整備計画(第8回変更)

くまもとえきしゅうへんちく
熊本駅周辺地区

平成23年 2月23日

熊本県 くまもと 熊本市 し

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	熊本県	市町村名	熊本市	地区名	熊本駅周辺地区	面積	358	ha							
計画期間	平成	13	年度	～	平成	28	年度	交付期間	平成	18	年度	～	平成	22	年度

目標

大目標：熊本の玄関口にふさわしい「出会い」と「ふれ合い」の副都心の形成

- 目標-1 主要幹線街路や生活道路の整備を行うことにより、商業・業務・観光・文化等の都市機能の集積を図る。
- 目標-2 人にやさしく利便性の高い生活環境を形成し、新しい都市生活を創造する。
- 目標-3 広域交通結節機能の強化を活かし、多様な人々の交流促進と賑わいのある都市空間を創出する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・熊本駅の周辺は、熊本市の都心部から南西に約2km離れた位置にあることや、東を1級河川白川や坪井川、西を花岡山・万日山に囲まれ、面的に広がりがなく、また地区がJR鹿児島本線により東西に分断されているなどの地理的条件に加え、都市計画道路等の都市基盤施設が脆弱であり、自動車社会の進展による鉄道離れ等から周辺商業は衰退し、熊本都市圏における主要な拠点地区として機能していない現状にある。
- ・熊本駅の東側には駅前広場が設けられ、路面電車やバスが発着する交通結節点となっているが、現在は、旅館、小規模商店、住宅等が混在し、最近ようやく一部、ホテルや予備校やマンション等の立地もみられるようになってきているが、全体としては、低・未利用地が多く、活気や魅力に乏しい街並みが形成されている。
- ・熊本駅の西側には乗降口が設けられておらず、鉄道によって東側の市街地と隔てられていることもあり、古くから主に住宅地として市街地が形成されてきたが、近年は土地利用の更新が進まず、駐車場や空き地などの低未利用地も多く存在する。また、4m未満の道路も多く公園の整備も遅れているなど、都市基盤が脆弱であり、密集した住宅地であるため防災上も不安な状況となっている。
- ・熊本市の上位計画においては、熊本駅周辺地区は熊本駅の交通拠点性を活用した副都心としての位置付けがなされており、平成9年には県・市により「熊本駅周辺地域整備方針」が定められ、都市基盤整備や機能導入にかかる検討や一部の事業が開始されている。
- ・その後、九州新幹線全線開通の2年前倒しに対応するため、平成16年5月に「新幹線新駅周辺整備推進会議」を県市で設置して議論を重ね、平成17年6月には「熊本駅周辺地域整備基本計画」の策定と、県市それぞれの役割を定めた新たな県市協定を締結し、熊本駅周辺の都市空間づくりへむけた本格的な取り組みが始まっているところである。
- ・また、これらの取組と並行して、平成16年度より「熊本駅周辺地域まちづくり推進協議会」と「新熊本合同庁舎及び周辺地区整備協議会」を設置するなど、地域住民、経済界と一体となったまちづくりの推進に取り組んでいる。

課題

- ・熊本駅には乗降口が東側のみであり、駅直近部における東西市街地の連続性が極めて低い状態である。今後、新幹線開通により、交通結節点としての役割が一層高まることになるが、現在のままでは、交通結節機能の強化や交通拠点性を活かした東西の一体的なまちづくりが困難であるため、西口駅前広場の新設や在来線の連続立体交差事業と併せて東西市街地を結ぶ幹線道路の整備に取り組む必要がある。
- ・熊本駅東側については、熊本の陸の玄関口でありながら、都市機能の集積は小規模に止まっており、低・未利用地が多く分布し、また、街並みの魅力も不足している。今後、副都心にふさわしいまちづくりを促進するためには、新幹線開通を絶好の機会としてとらえ、先導的な高次都市施設の導入や都市空間の魅力向上を図る都市基盤整備等に取り組む必要がある。
- ・熊本駅西側は、都市基盤の整備が遅れており、駅の直近に位置する利便を備えながら、高齢化、人口減少が続いている。現在、良好な居住環境が整った都市型居住地としてのまちづくりを促進するために、土地の整序や都市基盤整備を行う土地区画整理事業を施行中である。

将来ビジョン(中長期)

- ・「第5次熊本市総合計画・まちづくり戦略計画」において「魅力ある熊本駅周辺のまちづくり」が重点戦略の一つとして位置づけられており、「熊本駅東西市街地の一体化」、「熊本駅を中心とした交通結節機能の強化」及び「熊本駅東側を中心とした都市機能の充実」に取り組むこととされている。
- ・「熊本市都市マスタープラン」(平成13年3月)の都市空間の将来像として、熊本駅周辺は副都心として位置づけられており、都心とあわせて県都にふさわしい高次の都市機能の集積、広域交通結節機能の強化、玄関口にふさわしい風格ある街並み形成を図ることとされている。
- ・熊本県・熊本市で策定した「熊本駅周辺地域整備基本計画」においては熊本駅周辺の地域の将来像を「出会いとふれ合いの副都心」としており、また、まちづくりのテーマとしては「人・文化・自然と出合う くまもと・交流舞台～パーク・ステーション～」となっている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	目標年度	
				基準年度	目標値	目標年度	
熊本駅観光案内所利用者数	人/年	熊本駅構内にある観光案内所利用者数	熊本の玄関口として交流拠点機能が高まった結果として2割増を目指す	42,395	50,000	16	22
整備基本計画区域内建築着工数	件	整備基本計画区域内の建築確認件数の5年間の累計	生活・文化の交流拠点性が高まった結果として倍増を目指す	36	80	H12～16	H18～22
整備基本計画区域内狭隘道路率	%	整備基本計画区域内の幅員4m未満道路延長の道路総延長に対する比率	人に優しい利便性が高い生活環境が形成された結果として4割減を目指す	18.7	10.0	17	22
熊本駅乗降者数	人/年	熊本駅改札における乗降者数	広域交通結節点の核として、その周辺に魅力ある都市空間を整備することにより、減少傾向にある熊本駅利用者数を平成16年度時点まで回復させる	7,788	7,800	16	22
都市再生整備計画区域内住宅床面積	m ²	都市再生整備計画区域内の新築住宅床面積の5年間の累計	生活・文化の交流拠点性が高まった結果として3割増を目指す	99,206	125,000	H12～16	H18～22
都市再生整備計画区域内商業・公共施設等床面積	m ²	都市再生整備計画区域内の新築商業・公益施設等床面積の5年間の累計	都市基盤整備により都市機能の集積が図られた結果として2倍増を目指す	45,748	90,000	H12～16	H18～22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>方針1:都市基盤整備による都市機能の集積</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要幹線街路や生活道路の整備により、都市機能の集積を図り地区の再生を行なう。 	<p>街路事業(都市計画道路・熊本駅南線) <基幹事業、市> 街路事業(都市計画道路・新土河原出水線) <基幹事業、市> 合同庁舎周辺道路整備事業 <基幹事業、市> 街路事業(都市計画道路・春日池上線外3路線) <関連事業、県> 連続立体交差事業(JR鹿児島本線外) <関連事業、県> (仮)市道二本木線 <基幹事業、市> 地区施設(南A地区) <基幹事業、市></p>
<p>方針2:人にやさしい利便性の高い生活環境の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい都市生活の創造に向けて、熊本駅西土地区画整理事業等による居住環境の整備を行なうとともに、関係権利者と協議を行いながら、地元住民の主体的なまちづくりを推進する。 	<p>熊本駅西土地区画整理事業(都市再生) <基幹事業、市> 熊本駅西土地区画整理事業(市単独費分)(地域創造支援事業) <提案事業、市> 熊本駅西土地区画整理事業(道路特会) <関連事業、市> 市街地形成地区整備推進事業(まちづくり活動推進事業) <提案事業、市> コミュニティセンター整備事業(熊本駅西) <提案事業、市> 万日屋敷公園整備事業(公園) <基幹事業、市> 住宅市街地総合整備事業(熊本駅西) <関連事業、市> コミュニティセンター整備事業(古町) <提案事業、市> 屋上等緑化助成事業 <提案事業、民間> 白川河川敷利活用 <提案事業、市> 五福まちづくり交流センター改修 <提案事業、市> コミュニティセンター整備事業(白坪) <提案事業、市></p>
<p>方針3:情報発信・交流拠点として利便性が高く魅力ある都市空間の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地再開発事業に伴う地域交流センターや情報交流施設など交流拠点を整備するとともに、民間と行政の連携のもと魅力ある公共空間の整備を行なうことで賑わいのある都市空間の創出を図る。 	<p>地域交流センター整備事業(熊本駅前東A地区) <基幹事業、市> 情報交流施設(地域創造支援事業) <提案事業、市> 市街地再開発事業(熊本駅前東A地区) <関連事業、市> 熊本駅都心間まちづくり調査 <提案事業、市> 坪井川親水空間 <提案事業、市> 路面電車優先信号整備事業 <提案事業、市> ストリートファニチャー整備事業 <基幹事業、市> 熊本駅西口駅前広場・街路等高質空間形成事業 <基幹事業、市> 熊本市熊本駅都心間協働のまちづくり推進制度 <提案事業、民間> 地下水都市熊本空間創出事業 <提案事業 市・民間> 市電軌道敷緑化事業 <提案事業、市></p>
<p>その他</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 熊本駅直近の街区においては、地域住民と一体となった協議の場を設置し、継続的に地区計画や優良建築物等整備事業などの誘導を行い、土地の高度利用化を促進するなどの市街地整備に取り組み、平成30年度を目途に良好な景観、魅力的な街並みの形成を図る。 熊本駅周辺において、駅前広場や万日山・坪井川などのアメニティ軸を中心に、人と緑や水などの自然環境が共存した快適な歩行空間の確保に向けての検討を行う。 平成23年度以降においても、連続立体交差事業の進捗と合わせて、鉄道と交差する東西の幹線道路の整備や鉄道施設跡地を活用した東口駅前広場の整備を進め、引き続き熊本駅の拠点性を高める事業を行う。 熊本駅周辺において、公益施設整備を行い、防災機能の向上を図る。 	

